

大阪商業大学大学院  
地域政策学研究科 地域経済政策専攻

入学試験問題(一般・社会人)

【博士前期課程】

2019年度(春期) 小論文・外国語(英語)

小論文問題

次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

①

2018年12月30日からようやく米国を除く11カ国によるTPP（環太平洋パートナーシップ協定）が発効することになりました。当面は批准を終えた7カ国（2019年1月20日現在）により先行実施されることとなりますが、11カ国が揃えば人口約5億人の巨大な自由貿易圏となります。日本も参加するこのTPPは、今後日本経済にどのような影響を与えると考えられますか。メリット・デメリットの双方についてあなたの意見を述べてください。

②

「地方消滅」という言葉でも表現されるように、少子化等に伴う人口の減少によって、小規模な基礎自治体を中心に、地方自治体としての機能を将来的に果たせなくなるのではないかとの指摘がある。このような問題を解決するためにはどのような施策が最も有効だと思うか。その内容を具体的に述べなさい。また、なぜその施策が最も有効であるかを、その他の施策と比較しつつ、理由を説明しなさい。さらに、その施策を実行するうえでの課題についても記述しなさい。

③

あなたが日本の歴史を学ぶ中で、興味深く感じた地域・時代・できごと・組織（団体）・人物などに関連してテーマを設定し、その具体的な内容と興味深く感じた理由をできるだけ詳しく述べてください。また解答の内容をよく表すタイトルを冒頭につけてください。